



健康な学生諸君、自分やあなたの大切な人が、突然、病気や怪我をしたらどうしますか？
真っ先に「病院へ行く」ことですが、どこの何科の病院にどうやって行けばいいか瞬時に判断できるでしょうか？
今回は急病の対応についてお話します。



大学内で…

頭痛、耳痛、眼痛、喉痛、歯痛、胸痛、腹痛、息苦しい、吐き気、下痢、尿に血が混ざる、便に血が混ざる、足首捻挫、膝が曲がらない、立ちくらみ、めまい、肩脱臼、足がつる、気分不良等、どうしたらいいのかわからない場合、

保健室 (06-6781-0381) 月-金(9時-18時) 土(9時-17時)まで連絡ください。
応急処置をし、必要に応じて、学校の近くのクリニックや病院を紹介いたします。



夜に体調不良になった時…

☆急いで病院に行くのか否か、救急車を呼ぶのか否か、わからない場合

安心センターおおさか

#7119 (365日 24時間対応、固定電話(プッシュ回線)・携帯電話・PHS)

06-6582-7119 (固定電話(ダイヤル回線)・IP電話)

☆救急車を呼ぶほどではないが、適切な医療機関がわからない場合

大阪府医療情報センター

06-6693-1199 (365日 24時間対応)

例えば、あなたの大切な人が、急に倒れて、呼びかけても反応ない、意識がない場合は、迷わず**救急車(119)**を要請してください。119の救急隊に名前、住所、電話番号、状況を説明し、救急車が来るまでの適切な指示を受けて、お待ちください。

<病院には、たくさんの診療科があります>

内科(呼吸器、消化器、循環器、心臓)、外科(脳神経、口腔、心臓、消化器、整形、形成、美容)、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、精神科、小児科(15歳未満)などあります。最近は、物忘れ外来、もやもや病外来や、禁煙外来などの特殊なものもあります。医療従事者でも、たくさんありすぎて、わからないこともあります。症状によって、何科をいつ受診すればいいのか、適切な判断が必要です。



<保健室を利用する学生の多くは…>

発熱、風邪症状(頭痛、耳痛、鼻水、喉痛、咳、下痢、嘔吐)、鼻出血、めまい、打撲、捻挫、挫創、脱臼、腹痛、胸痛、息苦、過呼吸、気分不良、貧血、憂鬱、眠れない、けいれん発作など様々です。保健室では、病気や怪我の状況を瞬時に緊急か否かを判断し、救急搬送、救急受診、クリニック受診、休養し様子を観る、カウンセリングを勧めたりいたします。もちろん、かかりつけ医の有無、本人の了解も確認いたします。学生にとって一番最良な処置をしています。

お願い!



今も昔も、薬をくださいという学生さんがたくさんいます。総合感冒薬、解熱鎮痛剤、咳止め等々。本来、薬は、病院受診し処方してもらうか、薬局の薬剤師さんに自分に合った薬を相談し買うことが望ましいのです。保健室では学校医の先生と相談の上、どうしても必要な時は薬を渡す時もあります。でも基本的には強い症状があるときや、症状があいまいな時など、状況を確認したうえで、受診を勧めます。薬には、副作用もたくさんあり、**飲み間違えたり、飲み合わせ間違えると毒となります**。安易に薬に頼らないでください。薬に頼らなくても、いいこともたくさんあります。そういった判断、対処をするところが保健室です。わからないときは、是非、保健室をご利用ください。

